

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ヴォートレイルファッションアカデミー
設置者名	学校法人大阪文化服装学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
ファッション専門課程	スーパーデザイナー学科	夜・通信	22 単位 (660 時間)	13 単位 (320 時間)	
	ファッションクリエイター学科	夜・通信	28 単位 (840 時間)	10 単位 (240 時間)	
	ブランドマネジメント学科	夜・通信	12 単位 (360 時間)	10 単位 (240 時間)	
	ブランドプロデューサー学科	夜・通信	16 単位	13 単位	
	スタイリスト学科	夜・通信	12 単位 (360 時間)	7 単位 (160 時間)	
	ファッションビジネス学科	夜・通信	14 単位 (420 時間)	7 単位 (160 時間)	
(備考) () 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を併記している					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://voutrail.jp/assets/about/pdf/jitsumu2026.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ヴォートレイルファッションアカデミー
設置者名	学校法人大阪文化服装学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://voutrail.jp/assets/about/pdf/yakuin2026.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	自営（2021.4.1～）	2025.5.28 ～ 2029.定時 評議員会終 結の時まで	教育全般への指導・ 助言担当
非常勤	会社役員（2013.5.1～）	2025.5.28 ～ 2029.定時 評議員会終 結の時まで	コンプライアンスへの指 導・助言担当
非常勤	会社経営（1991.4.1～）	2025.5.28 ～ 2029.定時 評議員会終 結の時まで	業界の指導・助言担 当
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ヴォートレイルファッションアカデミー
設置者名	学校法人大阪文化服装学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全学科・学年・コース別の授業計画(シラバス)を整備し、年度初めにホームページで公表している。 ① 授業の到達目標(学修成果)については、授業科目の特性を検討し、学生が該当する授業科目を修得したことで期待される「知識として知ったこと」「理解したこと」、その結果、「なにができて、なにができないか」を明確にするとともに、具体的に記載している。 ② 成績評価の方法や基準については、 ・授業科目の進捗状況との関連を重視し、筆記テストの実施期間やレポート課題、成果物の提出時期についても配慮し、重なることの負担を軽減した。 ・成績の評価方法は、テスト、レポート、提出成果物等、複数の評価方法を採用する場合は、その配分を明記するように努めた。 ・授業科目の評価は素点で行い、それをA、B、C、D、Eの5段階で評定。授業の到達目標に対応した成績評価の設定を進めた。	
授業計画書の公表方法	https://voutrail.jp/course/syllabus.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、またはレポート、作品、成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に成績評価が与えられる。 成績評価は、平素の学習態度、出席状況、試験、提出課題、成果物などをもとに総合的に評価。各科目の成績は、前・後期を勘案し、学年末に総合評価する。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
本学では、全教育課程において厳格な成績管理を行うため、客観的な指標に基づく成績評価を適切に実施し、その運用の徹底を図っている。	
具体的な客観的指標として、学生個人が修得した全科目の評定から算出する「総合成績平均点」および「個別席次」を設定しており、成績通知書を通じて全学生へ確実に公表・フィードバックを行っている。これにより、学生は全体における自身の位置づけと学修成果を客観的に確認することが可能となっている。	
また、成績評価の適正性の検証と分布状況の把握のため、期末ごとに学年別・学科別・コース別の総合成績分布データを集計・分析している。科目の担当教員に対しては、この分布状況を基にした授業内容の定着度に関するヒアリングを体系的に行い、個々の学生に対するきめ細かな学修指導（メンター面談等）や、授業内容の継続的な質向上（改善）の重要な一助としている。	
客観的な成績評価の基準となるレターグレード（評価）、評定区間、および合格基準の対応は以下の5段階のとおりである。	
評価	… 評価基準
(100 点満点の目安)	
・ A (100 点～90 点)	… 基本的な目標を十分に達成し、優秀な成果を収めている。
・ B (89 点～75 点)	… 基本的な目標を十分に達成している。
・ C (74 点～65 点)	… 基本的な目標を達成している。
・ D (64 点～55 点)	… 基本的な目標を最低限達成している。
・ E (54 点以下)	… 基本的な目標を達成していない。
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://voutrail.jp/assets/about/pdf/seiseki.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って科目の授業時間を修得する事により卒業が認定され、専門士あるいは高度専門士の称号が与えられる。 なお、各学科には以下の卒業作品製作が必要である。 ・スーパーデザイナー学科(4年制) 卒業年次において個人ブランド7スタイリング以上の制作 ・ブランドプロデューサー学科(4年制) 市場調査に基づくオリジナル商品の企画・制作、プレゼンテーション、POP-UP ショップ 及び卒業作品発表会での展示・販売 ファッションクリエイター学科(3年制) グループによる8スタイリング以上のお作品製作。卒業作品発表会で発表 ・ブランドマネジメント学科(3年制) 市場調査に基づくオリジナル商品の企画・制作、プレゼンテーション、POP-UP ショップ 及び卒業作品発表会での展示・販売 ・スタイリスト学科(2年制) 卒業作品発表会に向けスタイリングの企画立案。ショー形式による発表 ・ファッションビジネス学科(2年制) グループによる卒業作品発表会での1日限定オリジナルショップ開発と運営	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://voutrail.jp/assets/about/pdf/seiseki.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ヴォートレイルファッションアカデミー
設置者名	学校法人大阪文化服装学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて概要を公開 https://voutrail.jp/assets/about/pdf/zaimu_2025.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	学校事務局にて閲覧可能
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		ファッション専門課程	スーパーデザイナー学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	124 単位 (4, 245 時間)	20 (660)	121 (3, 585)			
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
155 人		127 人	7 人	9 人	5 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） スーパーデザイナー学科 世界で通用し、独立志向の強いデザイナー養成が目的。クリエイティブなデザイン力と自らのブランド構築の為、2年次に外部でグループブランドの制作、展示販売。3年次では、商品企画演習等の講義と実習を組み合わせ実践授業に重点を置いている。4週間のイタリアポリモーダ校での短期海外留学も実施。
成績評価の基準・方法
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、又はレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に与えられる成績評価は、ABCDEの段階で評価。CDEは不認定となる。

卒業・進級の認定基準
(概要) 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数または単位数を修得することにより、進級、卒業が認定される。
学修支援等
(概要) ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得の為の特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19 人 (100%)	3 人 (15.8%)	14 人 (73.7%)	2 人 (10.5%)
(主な就職、業界等) 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をしており、就職希望者率が 63%で、希望者内定率は 100%となっている。			
(就職指導内容) 学校にて会社説明会を数週間に渡って行う。インターンシップも実務的な学習内容で、1 週間から 1 ヶ月を 40 社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、面接指導なども適宜行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・ BISHU FES. × TGC 新規デザイナー発掘プロジェクト (TGC 賞、グランプリ、プロジェクト入賞) ・ G-FRANCO Denim Disegno Awards 2024 (入賞、メンズ部門一般投票賞、メンズ部門優秀賞) ・ G-FRANCO Denim Disegno Awards 2025 (入賞) ・ HANKYU MENS OSAKA × gravevault × 大阪文化服装学院コラボ ・ JFW NEW CREATOR AWARD 2025 (審査員特別賞、入賞、入選) ・ KAI Hat&Head-Piece Competition 2025 (入選) ・ Reclothes cup 2025 (準グランプリ、入賞) ・ roop Award 2025-2026 (入賞) ・ Silk Idea Competiton-TENSAN-in Azumino 2025 (TENSAN DESIGN 賞) ・ アジア新鋭デザイナーコンテスト (金賞、銀賞、入賞) ・ ナゴヤファッションコンテスト 2025 (入賞) ・ 三澤(株)T-shirt design project 25ss (企画入賞) ・ 全国服飾学校第 41 回ファッション画コンクール経済産業省商務・サービス審議 ・ 第 100 回装苑賞 (入賞) ・ 第 22 回ボタン大賞コンクール (佳作、入賞) ・ 第 25 回 YKK ファスニングアワード (入賞) ・ 第 26 回全国ファッションコンテスト (入賞) ・ 第 27 回千年大賞 (入賞) ・ 第 33 回大連杯 (優秀賞) ・ 第 39 回文化服装学院連鎖講協会ファッションデザイン画コンテスト (佳作) ・ 第 40 回ファッションデザイン画コンクール (佳作) ・ 第 41 回全国服飾学校デザイン画コンクール経済産業省商務・サービス審議			

・第6回 JEA 刺繍コンテスト（最優秀賞、優秀賞、準グランプリ、優秀デザイン賞、優秀技術賞） ・日暮里ファッションデザインコンテスト 2025（荒川区長賞、独立行政法人中小企業基盤整備、入賞） ・文化服装学院ファッションコンテスト 2025（入賞）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
118 人	19 人	16.1%
（中途退学の主な理由） 主な理由は、ファッションでない学校への進路変更、学業不振など、学校に係るものが多いが、他は健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーション等をとるようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学金制度の指導なども実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		ファッション専門課程	ファッションクリエイター学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	93 単位 (3, 285 時間)	14 (375)	96 (2, 910)			
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
340 人		311 人	18 人	14 人	25 人	39 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ファッションクリエイター学科 アパレル企業での企画職、技術職として活躍できる人材を育成。2 年次から将来の職種に対応して、アパレルデザイナー、パターンナー&3D モデリング、オートクチュール&舞台衣装、ニットアーディスト、アートファッションデザイナー、バーチャルファッションのいずれかのコースを選択する。3 年間を通して共通科目の「デザイン」「パターン」「縫製」「3D」を修得。服作りの基本から高度な技術に裏打ちされた応用力を身に付け、コース選択によって、希望の職種に必要な専門性を付加する。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、又はレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に与えられる成績評価は、ABCDE の段階で評価。E は不認定となる。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数または単位数を修得することにより、進級、卒業が認定される。	
学修支援等	
（概要） ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得の為の特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
77 人 (100%)	1 人 (1.3%)	62 人 (80.5%)	14 人 (18.2%)
（主な就職、業界等） 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をしており、就職希望者率が 78%で、希望者内定率は 97%となっている。			

(就職指導内容) 学校にて会社説明会を数週間に渡って行う。インターンシップも実務的な学習内容で、1週間から1ヵ月を40社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、面接指導なども適宜行っている。
(主な学修成果(資格・検定等)) ・BISHU FES. ×TGC 新規デザイナー発掘プロジェクト (プロジェクト入賞) ・JFW NEW CREATORAWARD2025 (入選) ・KAI Hat&Head-PieceCompetition2025 (入選) ・Reclothes cup 2025 (入賞) ・roop Award 2025-2026 (入賞) ・SilkIdeaCompetition-TENSAN-inAzumino2025 (最優秀賞) ・アジア新鋭デザイナーコンテスト (入賞) ・デコリメイクチャレンジ展 2025 (佳作、大阪府知事賞、特別賞) ・ナゴヤファッションコンテスト 2025 (入賞) ・第100回装苑賞 (入賞) ・第22回ボタン大賞コンクール (佳作、優秀賞) ・第26回全国ファッションコンテスト (入賞) ・第6回 JEA 刺繍コンテスト (最優秀 OIF 賞、優秀賞、優秀デザイナー賞、優秀生産賞、優秀創作賞) ・文化服装学院ファッションコンテスト 2025 (入賞) ・翔工房 2025 入賞
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
278 人	31 人	11.2%
(中途退学の主な理由) 主な理由は、ファッションでない学校への進路変更、学業不振など、学校に係るものが多いが、他は健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーション等をとるようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学金制度の指導なども実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
服飾・家政		ファッション専門課程	ブランドマネジメント学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	93 単位 (3,000 時間)	10 (1,365)	93 (1,635)			
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		35 人	1 人	7 人	8 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ブランドマネジメント学科 ・ショップ開発コースは、企業で中核となる人材、または将来、ショップオーナーとし起業を目指す人材を育成。2 年時から企業で長期インターンシップを通して、現場対応型の実践力を身に付け、3 年時には企業の協力を得て、長期運営店舗を企画立案、商品調達に取り組み、市街地において 3 か月のショップ運営に携わる。 ・プロデューサーコースは、市場起点の発想で商品開発、ブランド構築できるプロデューサーの育成のコース。ショップ開発コースとの違いを出すため、アパレル商品演習（パターン・縫製）、ブランドプロデュース企画（オリジナル商品開発）等の授業科目を導入。販売職にとどまらず、総合職、企画職として就職できるカリキュラムを充実。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、又はレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に与えられる成績評価は、ABCDE の段階で評価。DE は不認定となる。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数または単位数を修得することにより、進級、卒業が認定される。	
学修支援等	
（概要） ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得の為の特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数	その他

		(自営業を含む。)	
8 人 (100%)	1 人 (12.5%)	7 人 (87.5%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をしており、就職希望者率が 63%で、希望者内定率は 100%となっている。			
(就職指導内容) 学校にて会社説明会を数週間に渡って行う。インターンシップも実務的な学習内容で、1 週間から 1 ヶ月を 40 社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、面接指導なども適宜行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・ HEP FIVE にて学生ショップ「Nue (ニュー)」を 10 月 2 日より約 1 ヶ月オープン。 ・ 梅田 EST にて、POP UP ショップを 12 月 16 日から 22 日までオープン。 ・ ファッションビジネス学会 FB アワード Y2025 (第 2 位)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54 人	10 人	18.5%
(中途退学の主な理由) 主な理由は、ファッションでない学校への進路変更、学業不振など、学校に係るものが多いが、他は健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーション等をとるようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学金制度の指導なども実施している。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
服飾・家政		ファッション専門課程	ブランドプロデューサー学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	124 単位	11	124				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人		25 人	1 人	5 人	5 人	10 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
在学中にマイブランドと同時に個人事業を立ち上げる「起業家育成」学科。海外での研修やオリジナルショップの出店など実践的な経験を通して、企画やマーケティングのノウハウ、さらに外注や交渉力といった企業に必要なビジネスプロデューススキルを磨きます。同学科を卒業すると、高度な実践力と専門的スキルを証明する「高度専門士」の称号を取得（現在認可申請中）。さらに、「大学併修制度」を利用することで大卒の学位「学士」も同時に取得する事が可能。それにより、同一期間で専門学校と大学の両方の卒業資格が得られるというメリットが生まれ、就職活動などの場面で、大きなアドバンテージとなる。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、又はレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に与えられる成績評価は、ABCDE の段階で評価。DE は不認定となる。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の単位数を修得することにより、進級、卒業が認定される。	
学修支援等	
（概要） ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得の為の特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をする予定。			

(就職指導内容) 学校にて会社説明会を数週間に渡って行う。インターンシップも実務的な学習内容で、1 週間から 1 ヶ月を 40 社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、面接指導なども適宜行う予定。
(主な学修成果(資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーション等をとるようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学金制度の指導なども実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		ファッション専門課程	スタイリスト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,980 時間)	11 (465)	54 (1,515)			
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
95 人		65 人	1 人	5 人	9 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） スタイリスト学科 現役で活躍するスタイリストやフォトグラファーの指導のもとで、実践力を高め、1年次からフィッターやスタイリストアシスタントとして数多くの現場を経験。2年進級時にコースを選択。 ・プロフェッショナルコースは、1年次に修得したスタイリストの知識・技術をさらに向上させ、現役スタイリスト完全監修、プロのスタイリストと同じ流れで実習するオンリーワンのプログラムで、即戦力を目指す。有名雑誌やコレクションなどでスタイリングを発表。プロモデルやタレントなどとともに一流の舞台を経験。 ・ビューティー&スタイルコースは、スタイリングやネイル、メイクなどのスタイリスト必須の能力に加えて、SNSを活用したコーデ提案などの実践を通して、自身の感性やアイデアを魅力的に提案・発信するノウハウを修得。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、又はレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に与えられる成績評価は、ABCDE の段階で評価。E は不認定となる。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数または単位数を修得することにより、進級、卒業が認定される。	
学修支援等	
（概要） ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得の為の特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

33 人 (100%)	1 人 (3.0%)	24 人 (72.7%)	8 人 (24.3%)
(主な就職、業界等) 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をしており、就職希望者率が 61%で、希望者内定率は 95%となっている。			
(就職指導内容) 学校にて会社説明会を数週間に渡って行う。インターンシップも実務的な学習内容で、1 週間から 1 ヶ月を 40 社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、面接指導なども適宜行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ・ 2025 年度 FSA 認定スタイリングアワード AW プレイヤー級グランプリ ・ 韓国スタイリング研修 ・ HOTSOX とのコラボ ・ 大阪長居公園にてファッションショーを実施			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	14 人	18.2%
(中途退学の主な理由) 主な理由は、ファッションでない学校への進路変更、学業不振など、学校に係るものが多いが、他は健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーション等をとるようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学金制度の指導なども実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		ファッション専門課程	ファッションビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1,845 時間)	11 (870)	57 (975)			
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		63 人	8 人	4 人	9 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ファッションビジネス学科 ・2年間の学びにおいてファッションビジネスについて幅広く学び、ビジネスの基本スキルを身につけ、FA、プレス、バイヤー、SNS を駆使したインフルエンサー等のアパレル小売業界で活躍できる自分の適性や興味にあった職を見極める。販売員に必須の商品知識、販売実務、素材知識、コーディネート論に加え、マーケティングや MD、VMD 論を学べる授業科目の編成。1 年次で全員が店頭で販売インターンシップに参加。2 年次からはショップマスターおよびバイヤーという 2 つのコースへ対応した科目を履修する。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 所定の学科で定められた授業時間の講義、演習、実習に出席し試験を受験、又はレポート、作品・成果物提出がそれぞれの科目で要件を満たした場合は、学期または学期末に与えられる成績評価は、ABCDE の段階で評価。E は不認定となる。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各学科の在学期間に定められた履修規定に従って、科目の授業時間数または単位数を修得することにより、進級、卒業が認定される。	
学修支援等	
（概要） ・業界等と共催による「企業説明会」、キャリアセンターと教員が連携し、個別の就職相談・指導。 ・資格、検定取得の為の特別講義の実施。 ・独立起業を目的とした支援等の実施。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11 人 (100%)	0 人 (0%)	8 人 (72.7%)	3 人 (27.3%)
（主な就職、業界等） 基本的にはアパレルメーカー、ファッション流通業界へ就職をしており、就職希望者率			

が 73%で、希望者内定率は 100%となっている。
(就職指導内容) 学校にて会社説明会を数週間に渡って行う。インターンシップも実務的な学習内容で、1 週間から 1 ヶ月を 40 社程度の企業と実施。もちろん授業においても就職先への情報提出、書類作成、面接指導なども適宜行っている。
(主な学修成果(資格・検定等)) ・ PAL FOUNDATION CUP (ブロンズ賞) ・ TSI ロールプレイングコンテスト (ゴールド賞、シルバー賞、プラチナ賞、授業優秀賞) ・ WEAR TO GO (トップセールス賞) ・ 韓国バイイング研修
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	12 人	25%
(中途退学の主な理由) 主な理由は、ファッションでない学校への進路変更、学業不振など、学校に係るものが多いが、他は健康上の問題、学費に関連する家庭事情等による退学となっている。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 中退防止においては、担当教員を配置し、密な個別指導、家庭とのコミュニケーション等をとるようにしている。学費については学校独自の奨学金をはじめ個別に各種奨学金制度の指導なども実施している。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スーパーデザイナー 学科	300,000 円	880,000 円	390,000 円	
ブランドプロデューサー 学科	300,000 円	800,000 円	390,000 円	
ブランドマネジメント 学科	300,000 円	730,000 円	410,000 円	募集停止の為、昨 年実績を記入
スタイリスト 学科	300,000 円	680,000 円	390,000 円	
ファッションクリエイター 学科	300,000 円	640,000 円	400,000 円	
ファッションビジネス 学科	300,000 円	600,000 円	390,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ホームページアドレス https://voutrail.jp/about/hyouka.html		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 第三者評価は実施していない。 学校関係者評価については、業界団体、企業、教育関係者、卒業生、保護者等を委員に選任し、自己点検・自己評価を通して、点検・評価の客観性、透明性を高め、情報公開する。学校運営の現状や課題について、学校関係者と共通理解を深め、学校運営の改善に向けて連携効果を引き出す。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
協同組合関西ファッション連合 常務理事	2013. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	業界団体
株式会社玉屋 常務取締役	2013. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	企業関係
大阪府立泉尾工業高等学校 教頭	2026. 4. 1～2027. 3. 31 (新規就任)	教育関係
OIFer LINK 会長	2016. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	卒業生

会社員	2025. 4. 1～2027. 3. 31 (任期更新)	保護者
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
・ホームページアドレス https://voutrail.jp/about/hyouka.html		
(備考)		
第三者評価は実施しておらず、評価の基本方針および評価の委員については学校関係者評価の内容を記載している。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
・ホームページアドレス — https://voutrail.jp/
・学校案内パンフレット

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H127310000157
学校名（〇〇大学 等）	ヴォートレイルファッションアカデミー
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人大阪文化服装学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		136人（ 72 ）人	122人（ 59 ）人	151人（ 72 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	54人	42人	
	（うち多子世帯）	（ 16人）	（ －人）	
	第Ⅱ区分	22人	23人	
	（うち多子世帯）	（ －人）	（ － 人）	
	第Ⅲ区分	12人	13人	
	（うち多子世帯）	（ －人）	（ －人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	22人	－人	
	区分外（多子世帯）	26人	35人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				151人（ 72 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-人	0人	-人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	-人	-人	-人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	-人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	-人	0人	0人
計	16人	-人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	-人	-人	-人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-人	-人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	18人	0人	-人
計	22人	-人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。